

小野崎まさき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

4年度からスポーツ文化局
そのような中、県は、令和
その必要性を感じてきた。
ら話を聞く機会も多く、支
援の必要性を感じてきた。

●**スポーツ文化局の新設**
利法人日本知的障がい者陸
上競技連盟という団体があ
る。この連盟は、千葉県を代
表するアスリート増田明美
さんが会長を務め、日本の知
的障がい者陸上競技を代表
する唯一の団体だ。その所在
地が、山武市内にあることか
ら話を聞く機会も多く、支
援の必要性を感じてきた。

●**アスリートの強化支援**
小野崎議員 県内アス
リートの強化支援は、今後
とさらに進んでいくべきだ。

2月県議会・予算委員会

山武市・山武郡選出の小野崎正喜議員は、2月県議会の予算委員会に質問し、追加指定される(過疎地域)を問う一層の支援をただしたほか、成田空港への道路問題、ジャンボタニシや野生イノシシの被害などについて追及した。その概要をお伝えする。



2月県議会・予算委員会で質問する小野崎議員

5市町が「過疎地域」追加

●**千葉県の過疎地域**
小野崎議員 国では令和13年度末までの時限立法で、新たな過疎対策法として「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が制定された。
本県では令和2年の国勢調査結果を踏まえ、新たに過疎地域に指定される市町が、この4月に発表されるとのことだが、県内の過疎地域

の状況はどうか。
市町村課長 令和3年4月1日に施行された「特別措置法」に基づき、現在、8市町の全部又は二部区域が指定されています。
さらに、国からは、令和2年の国勢調査結果により、

令和4年4月1日付で、新たに5市町、具体的には、十九里町の全域、匝瑳市の旧野栄町の区域、香取市の旧佐原市、旧山田町、旧栗原町の区域、山武市の旧松尾町の区域及びいすみ市の旧夷隅町の区域を、追加指定する予定と伺っています。
小野崎議員 過疎地域に指定されている市町に対して、現在県はどのような支援を行っているのか。

この国道296号、大里幅の進捗状況はどうか。
道路整備課長 大里幅は、芝山町大里から多古町喜多までの1.8kmの4車線化事業です。
令和6年度に圏央道のインターチェンジと接続する約0.3kmの区間について、県と空港会社で暫定2車線整備をすることとしています。
県施工区間については、整備に必要な用地5件のうち、現在、4件を取得しており、引き続き、事業を推進してまいります。

●**千葉県空港活用協議会**
成田空港活用協議会の主催で、県内企業商店生産者と空港関連企業とを直接結び、食品に関する商談会が、いよいよ千葉と空の商談会が

●**商談会の結果**
小野崎議員 本年1月に成田空港活用協議会の主催で、県内企業商店生産者と空港関連企業とを直接結び、食品に関する商談会が、いよいよ千葉と空の商談会が

開催された。この「商談会」の結果は、どうだったのか。
総合企画部長 商談会当日は、航空空港関連企業16社18部門のバイヤーと食品に関する県内53事業者が参加し、個別商談、展示商談を通じて、活気にあふれた商談が行われました。

●**大里幅の進捗状況**
小野崎議員 成田空港は、更なる機能強化により、空港の年間発着容量が現状の30万回から、50万回まで拡大されることになり、また新たなアクセスルートとなる圏央道も、大栄横芝間が令和6年度の供用に向け、現在整

●**空港会社との調整**
小野崎議員 空港の機能強化に伴う代替、補償道路の整備は、空港会社が実施する事になっているが、それ以外の部分、特に国道296号、大里幅は、空港会社とどう調整を進めているのか。
道路整備課長 大里幅の事業区間のうち、約1kmは空港の拡張区域と重なり、この区間の道路整備については、空港会社が実施することとなっております。

●**圏央道が令和6年度に開通する予定**
このため、道路設計を行う際には、空港会社と十分連携をとって進めておきます。
●**大里幅の進捗状況**
大里幅は、芝山町大里から多古町喜多までの1.8kmの4車線化事業です。

●**アスリートの強化支援**
小野崎議員 県内アスリートの強化支援は、今後とさらに進んでいくべきだ。

●**教育長** 県ではこれまでの国体競技に加えて、サーフボードやオンライン実施競技を含め、競技団体の行う強化事業に対して支援を行うとともに、パラスポーツについては、選手やチームに対する支援を拡充してまいります。

●**活用協議会の事業**
小野崎議員 活用協議会は、その他にどのような事業を行うのか。
空港地域振興課長 活用協議会では、成田空港とLCCを利用して本県への来訪促進を図るため北海道にお

●**大里幅の進捗状況**
小野崎議員 成田空港は、更なる機能強化により、空港の年間発着容量が現状の30万回から、50万回まで拡大されることになり、また新たなアクセスルートとなる圏央道も、大栄横芝間が令和6年度の供用に向け、現在整

●**空港会社との調整**
小野崎議員 空港の機能強化に伴う代替、補償道路の整備は、空港会社が実施する事になっているが、それ以外の部分、特に国道296号、大里幅は、空港会社とどう調整を進めているのか。
道路整備課長 大里幅の事業区間のうち、約1kmは空港の拡張区域と重なり、この区間の道路整備については、空港会社が実施することとなっております。

●**圏央道が令和6年度に開通する予定**
このため、道路設計を行う際には、空港会社と十分連携をとって進めておきます。

令和4年5月22日(日)



防除に「助成」継続を

●ジャンボタニシの被害
小野崎議員 県では令和2年度からジャンボタニシ

減らぬジャンボタニシ



質問席から再質問する小野崎議員

の緊急防除対策事業(地域ぐるみで取り組む総合防除対策推進事業)を進めている。このジャンボタニシは、外来種で、要注意外来生物、日本と世界の侵略的外来種ワースト100の1種でもある。ジャンボタニシによる直近の被害状況はどうか。

安全農業推進課長 県内における令和3年度のジャンボタニシによる水稲の被害面積は、千葉県農業共済組合への申告面積によると、17市町村88町で、過去最大の被害があった前年度と比べ大幅に減少していますが、直近5年間で2番目に多い状況となっています。

●対策予算の減額理由
小野崎議員 令和2年

度から始まったジャンボタニシ緊急防除事業だが、初年度4,370万円、3年度8,894万円と倍増していたのだが、4年度当初予算が3年度と比べ減額と

算案では6,889万円と、2,005万円の減額となっている。

なる理由は何か。
安全農業推進課長 本事業は、ジャンボタニシの防除に取り組む地域の拡大を図るため、今まで対策を行っていなかった地区に対し、取組を促すための事業です。このため事業未実施の市町村や地区に対し、事業の活用を働きかけてきたところです。

来年度の予算は結果として減額となっていますが、要望のあった全ての地区で取り組めるよう計上しています。

増える野生イノシシ



年間3万頭超す捕獲

対策強化が急務

●イノシシの捕獲実績
小野崎議員 有害鳥獣対策の中の、指定管理鳥獣に指定されているイノシシだが、令和元年度の農作物被害金額だけでも約1億8千万円で被害面積190町と、有害鳥獣による被害総額のお

よそ半分を占めており、大変深刻な状況である。そこで何かが、2年度におけるイノシシの捕獲実績はどうか。

自然保護課長 令和2年度の捕獲実績は、市町村や県による有害鳥獣捕獲と狩猟による捕獲を合わせ、県全体で31,861頭を捕獲しており、令和元年度と比べ、9,510頭増加しました。

山武市や横芝光町は、北部と中部の谷間になっており、生息域が拡大している。現在のイノシシの動向を見ると、養豚農家が多いこの地域も、豚熱の発生リスク軽減等の対策に取り組む必要がある。

一層の推進求める

進めぬ本県の地籍調査

●県内の地籍調査状況
小野崎議員 地籍調査は、

実施状況はどうか。

用地課長 本県では、54市町村のうち、令和2年度までに4町が調査を完了し、令和3年度は22市町村が調査を実施しています。

調査の進捗率は、令和元年度末16.6%、令和2年度末は17.2%となっています。

●今後の進捗見込み
小野崎議員 地籍調査の今後の進捗見込みはどうか。

用地課長 令和2年度から11年度を計画期間とする「第7次国土地調査事業十箇年計画」では、計画終了時の累計調査面積を約1,297平方kmとしており、本県の調査対象面積約4,897平方kmに対し、進捗率は約26.5%と見込んでいます。

●国県市町村の負担
小野崎議員 地籍調査の実施における国県市町村

の負担はどうか。

国土調査法に基づき、昭和26年に開始され、土地をめぐる行政活動、経済活動全ての基礎データを築くもので、全国で徐々に実績を上げている。しかし、県内では、まだ調査に着手せず、または休止している市町も多くある、という。

用地課長 国土地調査事業十箇年計画「では、計画終了時の累計調査面積を約1,297平方kmとしており、本県の調査対象面積約4,897平方kmに対し、進捗率は約26.5%と見込んでいます。

●国県市町村の負担
小野崎議員 地籍調査の実施における国県市町村

の負担はどうか。

用地課長 地籍調査では、事業費に対し、国が2分の1、県及び市町村がそれぞれ4分の1を負担しており、令和4年度当初予算案では、県の負担額475,855千円と、県を經由して市町村に支払われる国庫補助金を合わせた1,427,565千円を計上しています。

なお、県及び市町村負担への理解を求めており、本年

町を直接訪問し、調査実施

の理解を求めており、本年

の理解を求めており、本年

●県政についてのご意見、ご要望をお寄せください

小野崎まさき 県事務所

〒289-1516 山武市松尾町田越756-3
TEL0479-80-8333 FAX0479-80-8388
E-mail m.onozaki@orange.zero.jp https://onozakimasaki.com/